

事業所名

おもちゃ箱とめ プラス

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7 年

3 月

6 日

法人（事業所）理念		笑顔と挑戦と感謝の心で地域福祉を創造する										
支援方針		遊びを通じて集団生活のルールや社会性を学び、自主性と自立性を育てる 発達に心配のある子ども達に丁寧なかかわりを大切にし、療育を発達早期から提供する										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムを整える事で、情緒の安定を図る 楽しい雰囲気大切にしながら食への興味を育てる 子ども自身が荷物を出したり、しまったりする練習やトイレでの排泄の練習を行う										
	運動・感覚	公園や体育館、室内遊び等で筋力の維持や強化、感覚の発達につなげる 体の動かし方や使い方をスモールステップで繰り返し学び、感覚で覚えながら体幹を鍛える 五感へ刺激した活動を促し、感覚の偏りを調整する										
	認知・行動	数量、大小、色などの習得（マッチング、大小仲間分け、色彩を考える） 認知や行動への手がかりとなる概念の形成（パズル、ブロック遊び、手順書） 不安が強く表れているときは、原因を探り、落ち着くまで待ってあげて気持ちの切り替えがうまくできるように働きかける										
	言語 コミュニケーション	自由遊びや制作活動、公園遊びなど、様々な遊びを通して興味の広がりや他者との関りを促す 帰りの会でその日の反省を伝える際、どう話せば相手に伝わるかを考える 絵本の読み聞かせ										
	人間関係 社会性	成功体験をたくさんする中で、相手を認める力、負ける事を受け入れる力、自分の気持ちをコントロールする力を身に付ける 様々な学年の児童と関わる事で、集団における社会性を学ぶ 社会資源の活用（公共施設等での室内外活動、図書館、公園、体育館、社会見学）										
家族支援		家庭での困りごとに対する助言や相談、サポート 子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助							移行支援		将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定 進路先や移行先の相談援助や情報提供 就学説明会 支援会議	
地域支援・地域連携		相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との連携 行事や社協ボランティア・職場体験の受入等の交流 佐沼高校との交流							職員の質の向上		県社協のキャリアアップ研修、外部の専門研修への派遣 虐待防止や身体拘束等の研修への派遣や内部研修の実施	
主な行事等		土、祝日・・・家庭科療育、運動療育 年2回・・・避難訓練、防災訓練 季節行事・・・豆まき、お花見会、水遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会、餅つき大会、卒業を祝う会、交通安全教室										